

## 令和5年度第2回スポーツ医・科学委員会の開催

10月12日(木)開催の標記委員会の概要についてお知らせします。

### －協議事項－

#### ■研究倫理関係規程の新設・改訂に伴う各種規程の改訂

「競争的研究資金による研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」の新設および「研究倫理規程」の改訂に伴い、両規程に紐づく各研究倫理関係規程改訂が提案され、承認されました。

### －報告事項－

#### ■令和5年度各研究事業の進捗報告

令和5年度研究事業の進捗報告が行われました。

※JSPPOフラッシュNo.23-09(令和5(2023)年6月28日発行)にてお知らせした内容も含まれます。

#### 1. アンチ・ドーピング活動推進

##### (1) 都道府県体育・スポーツ協会への委託事業

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発事業として、都道府県体育・スポーツ協会主催講習会の開催支援やアンチ・ドーピング教育・啓発資料の作成・配布を通して、国体に向けたアンチ・ドーピング活動の推進を実施しました。

##### (2) アンチ・ドーピング情報提供

アンチ・ドーピング情報提供会、ドクターズ・ミーティング、アウトリーチプログラムを通して、アンチ・ドーピングに関する情報提供を行いました。また、令和6(2024)年3月にはスポーツドクター代表者協議会を開催する予定です。

##### (3) アンチ・ドーピング資料の作成

令和5(2023)年5月に薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック、9月にクリーンアスリートガイドの作成・配布を行いました。令和6(2024)年1月には、アンチ・ドーピング使用可能薬リストの作成・配布を行う予定です。

#### 2. アンチ・ドーピング教育・啓発に関する研究(継続)

<班長 内藤 久士(順天堂大学)、他班員5名>

国体出場アスリート・国体帯同サポートスタッフ、大学生アスリートを対象に、有効なアンチ・ドーピング教育の提供に向けた基礎的な情報・分析を行っています。過年度の研究では、特にアスリートは禁止物質・方法やサプリメントのリスクに関する知識が不十分であることが判明しました。それを踏まえ、現在は、アンチ・ドーピング規則違反を予防するための教育プログラムの効果検証を行っています。

#### 3. アクティブチャイルドプログラム(JSPPO-ACP)普及・啓発(継続)

<班長 内藤 久士(順天堂大学)、他班員8名>

JSPPO-ACPを普及・啓発させることを目的として、各種研修会の開催等を実施しています。

今年度から全日本柔道連盟との連携事業において本格的に JSPO-ACP の実践に取り組んでいます。令和 5(2023)年 7 月から 10 月にかけては柔道未経験者や初心者の子どもの対象としたイベントを実施し、今後、同 11 月から令和 6(2024)年 2 月にかけては、指導者を対象としたイベントを実施することを通して、指導現場における JSPO-ACP の普及・啓発を図っていきます。

また、今年度からの新たな取り組みとして、体育授業で行われる準備運動の代替として JSPO-ACP を実践した場合の効果検証の実施や、JSPO-ACP を親子で体験するイベントの開催など各種の取り組みを行っています。

#### 4. スポーツ活動中の熱中症予防に関する研究(継続)

<班長 川原 貴(大学スポーツ協会)、他班員 7 名>

平成 3(1991)年から現在に至るまで、事件事例の分析等を基に、熱中症予防に関する教育・啓発資料を充実させてきました。

壁新聞の配付やガイドブックの改訂といったこれまでの取り組みに加えて、今年度では、スポーツ現場における熱中症予防に関する実態調査や教育機関における教育・啓発活動の検討を行っています。

#### 5. スポーツ現場におけるサプリメントの利用状況と活用コンセンサスの作成

(令和 2~5 年度・第 4 年次)

<班長 鈴木 志保子(神奈川県立保健福祉大学)、他班員 8 名>

サプリメント利用の実態を把握するとともに、その利用がアスリートにとって適切であるかを評価し、その結果からサプリメント活用に関するコンセンサスを得ることを目的としています。現在は、過年度の調査結果をもとに、コンセンサスの作成に取り組んでいます。

#### 6. 身体リテラシー(Physical Literacy)評価尺度の開発(継続)

<班長 内藤 久士(順天堂大学)、他班員 9 名>

身体活動やスポーツ活動の促進、また健康や体力の向上への取り組みにつながるような Physical Literacy 評価尺度の開発を行うことを目的としています。現在は、日本版 Physical Literacy 評価尺度(小中学生対象)を用いた実態調査を行っており、今後は、子どもから高齢者まで幅広い年代を対象として、日本における Physical Literacy の現状について把握することを目指します。

#### 7. JSPO サイエンスカフェ

スポーツ医・科学に気軽に触れることができる場を提供するとともに、日常生活や指導現場で活用できる知見を提供することを目的とした「JSPO サイエンスカフェ」を開催しています。

第4回までの参加者数は下表のとおりです。

	開催日	参加人数
第 1 回	2023/6/26	204 名
第 2 回	2023/6/29	197 名
第 3 回	2023/9/7	167 名
第 4 回	2023/9/12	161 名

#### ■令和 5 年度 JSPO スポーツ医・科学 info(教育機関向け壁新聞)

時事通信社の協力を得てスポーツ医・科学に関する情報提供を目的として、全国の小中学校に壁新聞を配付しています。

令和 5(2023)年 7 月にはスポーツ活動中の熱中症予防、10 月には JSPO-ACP に関する壁新聞を制作し配付しており、今年度はさらに 2 回、壁新聞の制作・配付を行う予定です。